

## 第4回関東クラブセブン 実施要項

1. 主催 関東ラグビーフットボール協会
2. 日程 2006年5月28日(日)
3. 場所 博報堂我孫子グラウンド
4. 出場チーム 12チーム  
タマリバ、山梨学院大学、白鷗大学、ツクバリアンズ、  
学生クラブ8チーム(明治MRC、日大商学部、慶應BYB、慶応JSKS、  
くるみクラブ、早大こんぷれっくす、早大リスの会、明治生田)
5. 参加資格 2006年4月1日付けで、各都道県ラグビーフットボール協会にチーム登録されていること。
6. 選手資格 (1) 本大会の選手資格は、(財)日本ラグビーフットボール協会「日本協会規約」及び、その他の施行細則に抵触しない者とする他、以下の特則に服する。  
(2) 選手は満18歳以上の者とし、高等学校在学中(定時制を含む)の者の参加は認めない。  
(3) 2006年5月10日付までに、(財)日本ラグビーフットボール協会「競技者個人登録」を完了した者に限る。  
(4) 他のチームとの二重登録は認めない。  
(5) (財)スポーツ安全協会の「スポーツ安全保険」に加入していること。  
(6) その他、選手資格に疑義がある場合には、関東ラグビーフットボール協会に於いて裁定する。
7. 競技規則 (1) 平成17年度(財)日本ラグビーフットボール協会制定の「競技規則」<7人制競技規則>による。  
(2) 試合時間は7分ハーフ(ハーフタイム1分以内)とし、決勝戦のみ10分ハーフとする。  
(3) 同点の場合には以下の方法で上位進出権を決める。  
トライ数の多いチーム。  
トライ数が同じ場合には、トライ後のゴール数の多いチーム。  
上記で決定できない場合には抽選による。  
なお、決勝戦については、5分以内の延長戦を実施し、それでも勝敗が決まらない場合には以下のチームを勝者とする。それでも決まらない場合には両チームを優勝とする。

トライ数の多いチーム

トライ数が同じ場合には、トライ後のゴール数の多いチーム。

8. 罰則
- (1) 参加資格を偽った者、選手資格のない者が出場した場合、また大会申込後棄権したチーム(試合当日の人数不足を含む)は大会から除名し、本年度及び次年度の全ての公式大会への出場は認めない。
  - (2) その他、スポーツマンシップに反する行為があった場合にも前項は準じる。
  - (3) 参加チームは、その所属するチームの応援団の行為についても責任を負うものとする。
9. 費用
- (1) 大会参加料 = 10,000 円
  - (2) 試合中に発生した負傷等の医療費は、各チームの負担とする。

## < 参加上の諸注意 >

### 1. 大会実施細則

- (1) 大会は3チームごとのプール戦とし、それぞれの順位に従ってカップ戦、プレート戦、ボウル戦のトーナメントを行なう。
- (2) 事前に30名以内で選手登録を行なう。(当日の変更可)
- (3) 当日の試合ごとの登録選手は12名以内とし、その中から選手の交替/入替へは3名以内とする。(7人制競技規則による)
- (4) 選手の交替(負傷交替、入替え、出血の一時交替)は、必ずチームの交替指示者から本部席の競技役員に告げ、レフリーの許可を得て入退出すること。
- (5) 自チームの前の試合のキックオフ時(おおよそ18分前)に、両チームの選手全員、交替指示者、タッチジャッジ、メディカルサポーターは、本部席に集合すること。この時にメンバー表を提出する。この時点で到着していない選手を「メンバー表」に記入することはできない。
- (6) 出場選手全員(リザーブ選手含む)のドレスチェック及びメンバー確認を行なう。
- (7) 出場選手全員は統一されたジャージ、パンツ、ソックスを着用しなければならない。
- (8) その他、服装規定に違反した選手は出場できない。
- (9) 各チームは二組以上のジャージ(1st、2nd)を持参し、各試合では1番から12番までの背番号のついた統一されたジャージを使用すること。
- (10) 背番号を縫い付けた場合には、四隅だけでなくしっかりとジャージに縫い付けて、

試合中取れないようにすること。また、縫い付けとプリントの混在を認めない。

- (11) パンツのスリットライン、ソックスの折り返しの不統一は認めない。
- (12) サポーター類を着用する場合にはパンツと同色の物を使用すること。但し、白色のアンダーパンツ、サポーター類は、いずれのパンツにも使用することが出来る。
- (13) ヘッドギア、ショルダーパットに色規制はないが、< IRB マーク > の付いたもの以外は着用できない。ドレスチェックは型番などではなく、IRB マークの有無だけで判断を行なう。
- (14) ジャージの袖丈より長いアンダーウエアは着用できない。
- (15) プレートタイプ(波型)のスパイクは着用できない。

## 2. ラグビーマナー

- (1) 参加選手はラグーマンとしてふさわしい服装、身だしなみを心がけ、以下の着こなしを遵守こと。
  - ・ ソックスはきちんと上げる。試合中ずり落ちないようにテープ等できちんと止めること。
  - ・ パンツの上に出たジャージは、常に注意してパンツの中に入れる。
  - ・ ジャージのエリを内側へ折り込まない。ラグビーはエリのあるスポーツである。
  - ・ ジャージのソデを極端にたくし上げたり。テープで止めたりしないこと。
  - ・ 試合会場への往復はスーツまたはブレザー着用にて臨むこと。
- (2) タッチジャッジはレフリーに近い服装をすること。
- (3) 水係り、ボール係りはスタッフとして動きやすく、ふさわしい服装をすること。
- (4) 更衣は定められた場所で行い、また、ロッカーエリア外には裸体で出てはならない。更衣室の後始末は、各チームで責任を持ってきちんと行い、たとえ自チームが汚したものでない場合でも清掃に努めて頂きたい。
- (5) 会場内は、グラウンド、更衣室、交歓会会場、その周辺区域を含めて全面禁煙とする。
- (6) 会場内への往復の際、ボール、やかん、空気入れ等は、ムキ出しで持ち運ばないこと。
- (7) ゴミ(グラウンド内ばかりでなく更衣室のゴミも含む)は、会場内のゴミ箱に捨てず、必ず各自、各チームで持ち帰ること。チームは指定のゴミ袋を用意すること。

以上